

科目名 「 保存修復学 」

学年	学期	科目責任者
2	前学期	平山聡司
科目ナンバリング	C-7-④-I-03	
単位数	1	
学習目標 (G I O)	保存修復学は、主に歯の硬組織欠損や形態異常に対して人工的な材料で修復を行って歯の解剖学的形態、審美性および機能を回復する臨床科目である。日常臨床において高頻度に遭遇する疾患が治療対象となるため、臨床歯科医学の中で大切な学問のひとつである。したがって、保存修復学を通じて、歯の組織学的な知識、修復方法、修復材料および使用器材・薬剤に対する基礎的な事項を習得し、歯科診療補助が実施できる知識を身につけることが望まれる。	
担当教員	*平山聡司・*寺中文子・*井上椋介	
教科書	最新歯科衛生士教本 歯の硬組織・歯髄疾患「保存修復・歯内療法」 全国歯科衛生士教育協議会 監修 医歯薬出版株式会社	
参考図書	第7版 「保存修復学」 千田 彰他 医歯薬出版	
評価方法 (E V)	平常試験 (2回) の試験結果により評価する。 合格基準に達しない学生については再試験を実施する。	
学生へのメッセージ オフィスアワー	歯科医師の実務経験を活かし、保存修復学をわかりやすく説明する。専門用語や器材・薬剤の名称をできるだけ早く覚えることにより、講義の理解度が高まるので、教科書の予習・復習が大切である。また莫大な範囲を短時間でを行うため、学生諸君にとっては非常に大変だと思いますが、後期から始まる臨床実習に向けて積極的に学んでいきましょう。 【保存修復】月曜日：午後5時～6時	

日付	授業項目	授業内容	担当教員
第1回 4/6	保存修復学総論1 ・う蝕の分類とその病態	<p>【授業の一般目標】 保存修復学で治療対象となる歯の硬組織欠損とその病態を診断できるようになるために、硬組織疾患の種類と特徴について理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 ①保存修復学の歯科における位置づけについて説明できる。 ②保存修復学で治療の対象となる歯の硬組織疾患を列挙できる。 ③う蝕の分類とその病態について説明できる。 ④エナメル質う蝕と象牙質う蝕の進行とその特徴について説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 予習時間：30分、予習内容：歯の組織学的特徴について 復習時間：45分、復習内容：SB0s①～④</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義 (パワーポイントと黒板使用)</p>	*平山聡司

<p>第2回 4/13</p>	<p>保存修復学総論2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・う蝕以外の硬組織疾患の種類と病態</li> <li>・硬組織疾患の検査法</li> </ul>	<p>【授業の一般目標】 保存修復学で治療対象となる歯の硬組織欠損とその病態を診断できるようになるために、硬組織疾患の種類と特徴、鑑別に必要な検査法について理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 ①う蝕以外の硬組織疾患の原因とその特徴について説明できる。 ②硬組織疾患の検査法を列挙できる。 ③硬組織疾患の検査法の目的と使用する器材について説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 予習時間：30分、予習内容：歯の組織学的特徴について 復習時間：45分、復習内容：SB0s①～③</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義 (パワーポイントと黒板使用)</p>	<p>* 平山聡司</p>
<p>第3回 4/20</p>	<p>保存修復学総論3</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・窩洞</li> <li>・修復前準備</li> </ul>	<p>【授業の一般目標】 保存修復治療時に適切な診療補助ができるようになるために、窩洞や修復前準備について理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 ①う蝕以外の硬組織疾患の原因とその特徴について説明できる。 ②硬組織疾患の検査法を列挙できる。 ③硬組織疾患の検査法の目的と使用する器材について説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 予習時間：30分、予習内容：歯の解剖学 (特に方向用語) 復習時間：60分、復習内容：SB0s①～③</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義 (パワーポイントと黒板使用)</p>	<p>* 平山聡司</p>
<p>第4回 4/27</p>	<p>接着性修復</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンポジットレジン修復1</li> </ul>	<p>【授業の一般目標】 接着性修復であるコンポジットレジン修復処置の適切な診療補助が行えるようになるために、コンポジットレジンの組成、特徴、修復手順および使用器材について理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 ①コンポジットレジン修復の特徴について説明できる。 ②コンポジットレジンの組成について説明できる。 ③コンポジットレジン修復の臨床手順について説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 予習時間：30分、予習内容：コンポジットレジンの種類と組成について 復習時間：45分、復習内容：SB0s①～③</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義 (パワーポイントと黒板使用)</p>	<p>* 平山聡司</p>

<p>第5回 5/11</p>	<p>接着性修復 ・コンポジットレジン修復2</p>	<p>【授業の一般目標】 接着性修復であるコンポジットレジン修復処置の適切な診療補助が行えるようになるために、コンポジットレジンの歯質接着メカニズムと臨床的問題点について理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 ①コンポジットレジンの歯質接着性について説明できる。 ②コンポジットレジン修復の臨床的問題点について説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 予習時間：30分、予習内容：エナメル質と象牙質の構造と組成について 復習時間：45分、復習内容：SB0s①と②</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義 (パワーポイントと黒板使用)</p>	<p>* 平山聡司</p>
<p>第6回 5/18</p>	<p>接着性修復 ・コンポジットレジン修復3 ・ガラスイオノマーセメント修復</p>	<p>【授業の一般目標】 接着性修復であるコンポジットレジン修復とガラスイオノマーセメント修復処置の適切な診療補助が行えるようになるために、修復手順と研磨および使用器材について理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 ①コンポジットレジン研磨の目的について説明できる。 ②コンポジットレジン修復に使用する器材を列挙できる。 ③ガラスイオノマーセメント修復の特徴について説明できる。 ④ガラスイオノマーセメントの組成について説明できる。 ⑤ガラスイオノマーセメント修復の臨床手順について説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 予習時間：30分、予習内容：コンポジットレジン研磨の目的と歯科用セメントの種類について 復習時間：30分、復習内容：SB0s②～⑤</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義 (パワーポイントと黒板使用)</p>	<p>* 平山聡司</p>
<p>第7回 5/25</p>	<p>平常試験1および解説講義</p>	<p>【授業の一般目標】 保存修復学総論と接着性修復に関して学んだ知識を試験で確認する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 出題した筆記試験の内容について正誤の理由を説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 予習時間：240分、予習内容：講義1～6の内容 復習時間：60分、復習内容：出題した試験問題</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義 (パワーポイント)</p>	<p>* 平山聡司</p>

<p>第8回 6/1</p>	<p>間接修復法 1</p>	<p>【授業の一般目標】 間接修復法のうちメタルインレー修復処置の適切な診療補助が行えるようになるために、メタルインレー修復の特徴、修復手順および</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 ①メタルインレー修復の特徴について説明できる。 ②メタルインレーの臨床手順について説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 予習時間：30分、予習内容：修復材料の種類について 復習時間：45分、復習内容：SB0s①と②</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義 (パワーポイントと黒板使用)</p>	<p>* 寺中文字子</p>
<p>第9回 6/8</p>	<p>間接修復法 2</p>	<p>【授業の一般目標】 メタルインレー修復処置の適切な診療補助が行えるようになるために、メタルインレー修復の特徴、修復手順および使用器材について理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 ①連合印象の種類と特徴について説明できる。 ②仮封材の種類と特徴について説明できる。 ③合着用セメントの種類と特徴について説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 予習時間：30分、予習内容：弾性印象材と歯科用合着用セメントの種類について 復習時間：45分、復習内容：SB0s①～③</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義 (パワーポイントと黒板使用)</p>	<p>* 寺中文字子</p>
<p>第10回 6/15</p>	<p>間接修復法 3</p>	<p>【授業の一般目標】 セラミックインレー修復処置の適切な診療補助が行えるようになるために、セラミックインレー修復の特徴、修復手順および使用器材について理解する。</p> <p>【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 ①セラミックインレー修復の特徴について説明できる。 ②セラミックインレー修復の臨床手順について説明できる。 ③レジンコーティングについて説明できる。</p> <p>【準備学習項目・時間】 予習時間：30分、予習内容：セラミック材料の特徴について 復習時間：45分、復習内容：SB0s①～③</p> <p>【アクティブラーニングの有無】 無</p> <p>【学習方略 (LS)】 講義 (パワーポイントと黒板使用)</p>	<p>* 寺中文字子</p>

<p>第11回 6/22</p>	<p>生活歯の漂白</p>	<p>【授業の一般目標】 審美的修復処置の中でも歯の漂白を適切に行うことが出来るようになるために、歯の漂白法の種類、使用薬物、臨床手順、使用器材および偶発症について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 ①歯の漂白の種類と使用薬物について説明できる。 ②歯の漂白の臨床手順について説明できる。 ③歯の漂白に使用する器材について説明できる。 【準備学習項目・時間】 予習時間：30分、予習内容：歯の変色・着色の原因について 復習時間：45分、復習内容：SB0s①～③ 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義 (パワーポイントと黒板使用)</p>	<p>* 寺中文字子</p>
<p>第12回 6/29</p>	<p>保存修復における 歯科衛生士の役割 1</p>	<p>【授業の一般目標】 直接修復法の診療補助を行うことができるようになるために、直接修復法の種類、臨床手順、使用器材および偶発症について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 ①コンポジットレジン修復とガラスイオノマーセメント修復時の診療補助業務について説明できる。 ②診療に必要な器具器材を列挙できる。 【準備学習項目・時間】 予習時間：30分、予習内容：コンポジットレジン修復とガラスイオノマーセメント修復の臨床手順と使用器材について 復習時間：45分、復習内容：SB0s①と② 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義 (パワーポイントと黒板使用)</p>	<p>* 井上椋介</p>
<p>第13回 7/6</p>	<p>保存修復における 歯科衛生士の役割 2</p>	<p>【授業の一般目標】 間接修復法の診療補助を行うことができるようになるために、間接修復法の種類、臨床手順、使用器材および偶発症について理解する。 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 ①コンポジットレジンの歯質接着性について説明できる。 ②コンポジットレジン修復の臨床的問題点について説明できる。 【準備学習項目・時間】 予習時間：30分、予習内容：メタルインレー修復とセラミックインレー修復の臨床手順と使用器材について 復習時間：45分、復習内容：SB0s①と② 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義 (パワーポイントと黒板使用)</p>	<p>* 井上椋介</p>
<p>第14回 7/13</p>	<p>平常試験2および 解説講義</p>	<p>【授業の一般目標】 間接修復法と歯の漂白および保存修復診療補助に関して学んだ知識を試験で確認する。 【行動目標 (SB0s)】 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 ①出題した試験の内容について正誤の理由を説明できる。 【準備学習項目・時間】 予習時間：240分、予習内容：講義8～14の内容 復習時間：60分、復習内容：出題した試験問題 【アクティブラーニングの有無】 無 【学習方略 (LS)】 講義 (パワーポイント)</p>	<p>* 寺中文字子・ * 井上椋介</p>

<p>第15回 7/20</p>	<p>まとめ講義</p>	<p><b>【授業の一般目標】</b> 保存修復学総論および各論で学んだことを再確認するために、問題演習を通じて知識の確認を行う。</p> <p><b>【行動目標 (SB0s)】</b> 臨床経験に基づき以下の内容を教授する。 ①歯の硬組織疾患について説明できる。 ②修復前準備について説明できる。 ③直接修復法の特徴と臨床手順について説明できる。 ④間接修復法の特徴と臨床手順について説明できる。 ⑤生活歯の漂白について使用薬物と臨床手順について説明できる。</p> <p><b>【準備学習項目・時間】</b> 予習時間：120分、予習内容：SB0s①～⑤ 復習時間：120分、復習内容：SB0s①～⑤</p> <p><b>【アクティブラーニングの有無】</b> 無</p> <p><b>【学習方略 (LS)】</b> 講義 (パワーポイントと黒板使用)</p>	<p>* 寺中文字</p>
----------------------	--------------	--	---------------